西東京市市民協働推進センター

平成 27 年度第 7 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 27 年 11 月 17 日(火)午後 7 時 00 分～9 時 00 分
■開催場所：イングビル 3 階第 1、2 会議室
■出席委員：池田委員、伊藤委員、熊田委員、小松委員、紺野委員、坂口委員、佐藤(文)委員、鈴木委員、田中（友）委員、田中(紀)委員、中村委員、藤江委員＜以上 12 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、佐藤副センター長、丸木福祉活動推進課長、石井地域福祉推進係長、塚澤主事

1. 報　告　事　項

1. 業務報告について

事務局より、10 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があったが、特に質疑はなかった。

2. 11 月以降の事業について

事務局より、11 月以降の実施事業について説明があった。

委　員：ひまわりプロジェクトから要望があるとのことだが、来年度のひまわり事業をゆめこらぼが実施しないこともあるのか。

事務局：ひまわりプロジェクトからは市との契約の仕方について意見が出ている。25 日予定の反省会以降、検討することになると思われる。

委　員：地域デビューシリーズを受講した方の地域デビューに向けて今後どう対処していくのか。

事務局：お父さんお帰りなさいパーティー＆ようこそ！ゆめこらぼミディ（以下、おとぱ）のイベントに参加してもらい、様々な団体があることを紹介する。また、来年には交流会を計画している。昨年度おとぱに参加した方が、現在もおとぱ懇談会や NPO 市民フェスティバルの実行委員として関わってくれている。今年度の方も同様な流れにしたい。

委員長：地域デビューシリーズのテーマが農だったり健康だったりするが、それに興味がある人と地域に興味がある人の割合はどうか。

事務局：健康についてはその回のみ参加で続かない方が多かったが、文化活動に参加した方は引き続き参加している。6～7 割は地域に興味があるとアンケートで回答している。

委員長：引き続き、興味関心のあるテーマで引き付けて参加を促すこととする。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：今週末までに意見がなければ確定稿とする。

2. 広報・PR 事業について

事務局よりキャッチコピーとリーフレットについて説明があった。

委員長：緑ベースのリーフレットの案でも写真のパターンはあるのか。組み合わせは色々あるのか。

事務局：緑の場合も左側の理念の部分ではイラストと写真の２つのパターンがある。外面は緑と黄色の２つの案だが、内面は薄い黄色であるこの色を考えている。
委　員：外面の真ん中の部分だが、緑と黄色の案で内容が若干違うがどうなのか。
事務局：黄色の案にあるゆめこらぼの写真入りのものを採用する予定だ。
委　員：人が写った写真に差し替えはできるのか。
事務局：決定ではないので、差し替えられる。
委員長：キャッチコピーについての意見はないか。
委　員：人をおもうのも自分で、仲間とつながるのも自分ではないか。市民が主語の前提ではつなぐではなくつながるの方がわかり易いのではないか。
委　員：キャッチコピーの２つの文の間に句点があると感じが変わる。句点はなくしてはどうか。
委員長：他に意見はないか。確認だが、ゆめこらぼの３つの理念のうち、つなげるをつながるに変更することでよいか。
事務局：了解した。
委　員：つなげるかつながるかはとらえ方次第でどうにでもなるのではないか。つなげるはゆめこらぼが人と人をつなげるで解釈できる。違和感はないが、つながるに変えることの影響は何か。３つの理念はどこからきているかわからないが、確認をしたい。
委　員：つながるは自分の気持ちでつながっていきましょう、つなげるはつなげてやるよと言われているように感じる。つなげるとつながるはそのような部分に差があるのではないか。つながるの方が良い。
委員長：団体のキャッチコピー、スローガンなので主語は団体であるゆめこらぼではないか。
事務局：キャッチコピーもリードコピーも主語はあくまでも、個人・団体・ゆめこらぼの３つと考えている。
委員長：３つがどれも主語になるキャッチコピーは難しいのではないか。
委　員：ゆめこらぼにとってもつながるがよいのではないか。
委員長：理念との兼ね合いもあるが、専門家ではないので難しく感覚的な判断になってしまう。
事務局：感覚的に考えて、つながることが目的ではなく、課題を仲間とつないで解決したいねということを表現している。
委員長：人をおもうかまちを想うかという２つの案についての意見はないか。また、漢字と平仮名の使い方についてはどうか。
委　員：中身ではなく見た目では人をおもうがよい。
委　員：まちを想うがよい。郷愁を誘う、まち全体の視点でものを考えている気がする。
委　員：想いでは重いように感じる。
委　員：団体の取り組んでいる分野が広いのでまちを想うがよいが、想いではなく平仮名でもよいのではないか。
委　員：まちづくりを支援するので、まちを想うが良いのではないか。仲間とつなぐはゆめこらぼからアプローチしていくので意味は伝わる。
委　員：まちを街にしてはどうか。
委員長：キャッチコピーはまちを想うの方向で進めることとする。漢字か平仮名も検討することとする。リードコピーに移る。支援するの主語、わたしたちがゆめこらぼであるなら、わたした

ちではなくゆめこらぼに変えてはどうか。リードコピーの最後にある西東京市市民協働推進センターゆめこらぼはいらない。他に意見はないか。

委　員：案1のリードコピーがよい。共に課題解決の共にはいらないのではないか。共に支援するのではなく、支援するのはあくまでゆめこらぼである。

委　員：「」はつくのか。主語が違うことを表しているのか。「」の意図が良く判らない。

事務局：主語はあくまで3者である。個人・団体・ゆめこらぼである。「」がついたのは、「あつまる」「つながる」「ささえる」に対応させているからである。

委　員：そうならば、あつまる、つながる、ささえるの部分だけを「」で囲めばよい。

委　員：お互いに理解し合いのお互いにはいらないのではないか。

委　員：ゆめこらぼの名前自体が浸透していないなら、リードコピーにゆめという言葉をどこかに入れてはどうか。

委　員：参加するのにこんなに大仰なこと考えていない。もっと気軽な文章にしてはどうか。ハードルが高いように感じる。

委　員：ささえるという部分が負担になる。あつまるとつながるの部分はさらっといけるが、ささえるの部分はなくても良いのではないか。

委　員：ゆめこらぼにとって負担になるという意味か。

委　員：団体の負担になるという意味だ。

委員長：文字が重複している感じがある。ここで文章を作ることはできないので、あとで意見を反映して欲しい。

委　員：ゆめこらぼという表示を多く記述し過ぎではないか。

委員長：全体的には手書き風で、親しみを感じる。

委　員：3つの理念を表したいことはわかるが、仲間という言葉を何度も繰り返しており、しつこい感じがする。

委員長：ゆめこらぼが支援する課題解決の部分については、地域や社会の課題解決だけでなく、団体の課題解決もあるので必ずしも地域課題に限らなくてもよいと思う。意見を取り入れて修正をして欲しい。色についての意見はないか。

委　員：背景の色がロゴマークの色に被らないほうがよい。

事務局：ロゴマークのピンクも黄色も実際は薄い。

委　員：外も中も黄色はどうかと思うが、ロゴを考えると黄色になるのか。

事務局：黄色はもう少し暖色になる。

委員長：紙の質は決まっているのか。

事務局：コート紙を考えている。

委　員：ロゴの周りを白抜きにしていることを考えると緑が良いのではないか。

委員長：写真を取り入れるのも良いが選ぶものによってはつまらないものになる。

委　員：3つの理念を写真で表すのは難しいのではないか。

委員長：写真にもよるが、人のイラストでも良いのではないか。

委　員：閑散としたセンターの写真はやめてほしい。

事務局：写真は動きのあるものを探してみる。

委員長：内面の案はどうか。

委　員：個人と団体がごちゃごちゃしており、判りにくい。せっかく個人に関することと団体に関することを色で分けようと考えているのかも知れないが判りにくい。
委　員：団体と個人の色分けではなく、質問と答えを色分けしてはどうか。
事務局：確かに個人と団体の線引きが難しい。
委　員：個人は初めて活動しようとする人を個人と解釈している。団体に参加したら個人には分類できない。
委員長：どれかのニーズにはまればよいのなら、色にはこだわらなくても良いのではないか。
委　員：何も知らなくても一人でも行ってみようかなという雰囲気を出すのが良いのではないか。
委員長：個人と団体を分けてしまうと杓子定規になってしまうのではないか。
委　員：質問の内容により字を大きくするなどの工夫を入れてはどうか。
委　員：「NPO 活動に関する専門的知識がほしい」の文言は誤解を招くかもしれない。表現を工夫して欲しい。
委　員：個人が活動団体を立ち上げたい、自分の特技を生かしたいなどはかなり大げさな表現だと思う。趣味を生かしたいくらいの軽い表現を入れてほしい。
委員長：では、また皆様にヒントを頂きながら作成して欲しい。

3. 協　議　事　項

1. 地域連携促進事業について

事務局より NPO 市民フェスティバル・プログラム（案）について説明があった。

委　員：2 日目の交流会は 1 日目の方も対象なのか。
事務局：勿論参加していただくよう呼びかける。
委　員：ゆめこらぼの出前相談会をするのか。
事務局：予定している。団体全体の質問もあるかと思うので、コンシェルジュを置く予定である。
委員長：ボランティアはどうなっているのか。
事務局：協力を依頼している。
委員長：ボラセンは関わらないのか。
事務局：今年度は関わらないが、来年度以降の関わり方については検討している。
委　員：ステージの時間割はどういう風に決めたのか。
事務局：希望を聞いて決めた。アスタ管理事務所から音を出すものが続くのは困ると言われているので、続けないよう交互に設定している。
委員長：引き続き宜しくお願いする。出展されない方もぜひ時間を作って見にいって欲しい。

2. 事業運営について

事務局より今後の協議予定案について説明があった。

委　員：次年度計画の協議予定はないのか。
事務局：先月説明しているが、1 月にも予定したい。
委員長：今年もう一度くらい協働コミュニティ課長に来てもらいたい。少し時間が余りそうな回には普段とは違うテーマをワークショップ的に入れていきたい。
事務局：3 月にそれに近いものを入れている。

委員長：議論すべきテーマがあればあげてもらいたい。

委　員：防災のことをもう少し話合いに取り入れたい。災害に強い地域を作っていくことを目的に情報交換など取り入れたい。

委　員：運営委員会で事業に対する意思決定のあり方と解釈の統一なり運営委員会設置規則の内容変更を考える場を入れて欲しい。

委員長：今後も活発に議論ができる場にしていきたい。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：12 月 15 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル３階　会議室